

事務事業名		生活雑排水汚泥処理事業		会計	一般会計		事業種別		経常	開始	6	終了	
H27担当課等名		環境課		H27係等名		環境保全係		H26係等名		環境保全係			
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり									
		施策	53	環境汚染の防止									
目的	対象(誰・何を)	下水道利用や合併浄化槽利用をしていない一般家庭(汚泥汲取家庭だけでなく未設置や未管理の家庭を対象とする)											
	意図(どういう状態にするか)	河川の水質が向上する 簡易浄化槽の適正な維持管理が行われる 下水道区域外への簡易浄化槽の設置が行われる 生活雑排水の適正な処理を行うなかで、合併浄化槽、公											
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市が定める環境目標に向けた改善化率(水質BOD)(%)											
				指標名及び単位		26年度計画		26年度実績		27年度計画		28年度見込み	
種別		指標名及び単位		26年度計画		26年度実績		27年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)	
成果指標		飯田市が定める環境目標の達成率(水質BOD)(%)		80		81.8		80		80			
定性目標		簡易浄化槽の適正な維持管理が行われ、河川の水質が向上される。											
事業概要 生活雑排水汚泥処理事業 河川の水質汚濁防止のため、飯田市環境保全条例に基づき、簡易浄化槽の設置及び適正な維持管理の啓発を行いつつ、生活雑排水汚泥の運搬・処分を行う事業 市では生活雑排水については処理施設を有していないため、市が事業者へ委託して雑排水汚泥の運搬・処分を行っている なお、皆水洗化された時点において、簡易浄化槽の生活雑排水汚泥処理事業は廃止となる													
事業内容				名称				活動指標					
生活雑排水汚泥処理事業 1 適正な維持管理の啓発 2 汚泥の汲み取り 3 汚泥の適正処理				1 啓発回数 2 汲み取り件数 3 汚泥処理量				1回 1,329件 313.0立方メートル					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		2,489	2,913	2,468	2,779								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		2,489	2,913	2,468	2,779								
人件費計(千円)②		0		368									
正規職員所要時間				100									
臨時職員所要時間				10									
総事業費①+②		2,489	2,913	2,836	2,779								
事業内容・目標達成状況の振り返り		下水道の普及により、汲み取り件数は減少傾向。簡易浄化槽については、適正な管理が求められていることから、広報で周知を行った。											
改革改善の考え方		①問題点 下水道、合併浄化槽への切り替えにより、対象指標が減ることにより事業費が減少していく性格の事業。 ②改革提案 下水道、合併浄化槽への切り替えが残った世帯の生活雑排水汚泥処理を適切に行うことにより、河川の水質汚濁防止を図る。											